

第7回茅ヶ崎市民文化会館再整備検討協議会 会議録概要

議題	1 基本設計方針のまとめ 2 その他
日時	平成21年12月17日(木)14時から16時まで
会議開催場所	茅ヶ崎市役所分庁舎5階A会議室
出席者氏名	片岡 俊彦、望月 直人、川口 寛、岩本 一夫、松永 耕作、吹谷 一徳、本領邦任(代理出席)、塚原 康男、丸山 透、杉山 貴子、山内 隆徳 事務局13名(文化推進課3名、建築課4名、施設再編整備課1名、エイアンドティ建築研究所4名、学識経験者1名)
会議の公開・非公開	公開
傍聴数	0名
非公開の理由	—

(事務局)

皆さん、こんにちは。年末でお忙しい中ご出席していただきまして、ありがとうございます。ただいまから第 7 回茅ヶ崎市民文化会館再整備検討協議会を開催させていただきます。

なお、本日もご欠席の委員さんですが、白井委員、和田委員、遠藤委員の三名の方は欠席という連絡を頂いております。また、望月委員に関しては他の会議と重なっているということで出席できたとしても遅くなるということです。また、澤委員ですが、本日は代理ということで本条さんにご出席していただいております。よろしくお願いいたします。

それでは、進行につきましては会長の方にお任せしたいと思います。

(杉山会長)

みなさま、こんにちは。本日もお忙しい中ご出席していただきありがとうございます。ただいまから第 7 回茅ヶ崎市民文化会館再整備検討協議会を開催させていただきます。本日は、傍聴の方はいらっしゃいませんね。

本日は施設再編整備課からもご出席をいただいております。本日の議題に入る前に、茅ヶ崎市の公共施設再整備計画の全体のお話をしていただく中で、今後の市民文化会館再整備の設計について検討していくこととなりますのでよろしくお願いいたします。施設再編整備課長、ご説明をお願いいたします。

(施設再編整備課長)

こんにちは。私ども施設再編整備課では、市民文化会館を含め、公共施設の再整備について調整を行っている課でありまして、今年度の色々な施設の予算調整を行っているところでございます。本日は、その中で市民文化会館を含め、公共設備の再編についての事業の事業費の見直しを行っていきまして、その経過について簡単にお話させていただいて、そういった状況をふまえて皆様に色々議論していただけたらと思ひまして、お話しする時間を設けさせていただきました。

市民文化会館は、平成 20 年 3 月に策定した「公共施設整備・再編計画」に位置づけられておりまして、その中で耐震工事と大規模なリフレッシュを行いまして、再整備していくという方針で位置づけられています。文化会館の他に本市では約 20 施設が再整備の対象となっております。その中では温水プールや体育館については、それに従ってすでに整備をしております。プログラムを作成いたしまして、10 年間で約 270 億円の事業費を計上して、事業費を決めていくところですけれども、皆様方もご存知のとおり、昨今の経済状況の悪化の中で、本市の予算調整につきましても、平成 21 年度から来年度の平成 22 年の予算案を比較いたしますと、税込で約 20 億円の減収になるという中で、今予算の切りつめを行っているところでございます。今後このような厳しい状況が続くのではないかという状況の中で、今現在、公共施設再編整備計画の事業費、全体の事業費の見直しなどを行って

いるところであります。見直し作業の中では、事業費が残るだけましかということや、優先度の高いものは残しまして、なるべく実施時について伸ばせるものは伸ばせないかと、そのような中でやっているところでございます。

市民文化会館につきましては、当初 40 億円という事業規模を想定しておりましたが、今後の財政調整の中では、この 40 億というのは予算調整していく中で難しいのではないかといい中で、今後事業費の縮減をしていきたいと考えております。これから基本設計、実施設計に入るわけであり、安全・安心、バリアフリー・設備関係等、やらなければならないところが数多くございますけれども、そういうことを総合的に考慮しながらできるだけ事業費の縮減に努めたいと考えている次第であります。

また、今後も皆様にご意見いただきながら基本設計に向けて準備をすすめてまいりますけれども、そういった状況の中で再整備をしていきたいという見直しを行っているということの説明したく参りました。よろしくおねがいたします。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。ただいまの施設再編整備課長からのお話で、ご質問等ございますでしょうか？

(岩本副会長)

どの程度の縮小を考えていらっしゃいますか？

(施設再編整備課長)

まだ具体的に事業費をどこまで縮減できるかという目標値を定めているわけではありません。やはり、これから一つ一つ積み上げて必要なことや、やらなければならないことは、やらなければならないと思っておりますので。まだ数値目標としてはございませんが、来年度予算に向けて 1 月末までには、一定の縮減の数値目標を出したいと考えております。

(岩本副会長)

私は、文化団体協議会というところからこの協議に参加させていただいておりますが、うちの団体をはじめ、その他の市民、私たちの聞く限りですが、基本的には会館は建て直すべきであるという考えであって、長期的に見ても建て直した方が市民の負担額が減るんですね。しかも、今の建物より 20 年、30 年と長く使えるというような大きなメリットもあるわけですが、ここ数年の予算がないから仕方なく改修でいくということになったと思うんですが、その時に条件としては、現在とにかく使い勝手が悪く、非常に時代遅れになっていると。そういったことを 100%解消できるのか？たとえば部屋がなければ外に別の建物を建てて、楽屋をその建物にあてるとか。敷地の話は別として。極端な話で言えば、私たちは、地下を掘り下げる以外のことは、何でもできるのではないかと希望を持ってこの会

に参加しておりますし、しゅしゅ改修でということに納得した経緯がございます。

この40億円という数字も一端下げられた数字ではないかと思うんですが、当初はもう少し規模が大きく考えられていたのではと思うんですが、ただどのように改修するのかということがわかってないときの予算ですけれどもね。40億円で落ち着いたのであれば、約束していただける予算の範囲だとしていましたが、これがいくりに縮小されるのかわかりませんが、今まで我々がやってきている作業が無駄になる部分も出てくるのかなと。そういう危惧があるのですが、当初の文化会館を建直しして欲しいという方々を説得したときのマニフェストがどこまで有効なのかお伺いいたします。

(施設再編整備課長)

文化会館は、再整備の対象施設の中でも地方公共施設の中で一番新しい施設となります。色々比較検討する中で、建物としても劣化が少ないという中で、できるだけ整備をして長寿命化をして行こう、そして耐震補強もということで指定しました。我々としては、事業費の上限を決めてしまって、その中で考えようという荒っぽい考えではなく、皆様方のご要望を一つ一つ積み上げていく中で、できるだけそれを実現していきたいという前提で考えていきたいと思っております。ですので、積み上げ方式でやってみて、どこまで可能なものができるのか、またその中で数年後の予算でまかなえるのかどうかなど、継続的な予算の中で見直しをかけていきたいと思っております。

それで、実は文化会館だけではなくて、他の施設も2、3年延期になっていたり、本庁舎につきましては、文化会館より耐震強度が低いわけですが、それについては立て替える計画がございましたが、もう数年延期をする予定であります。特に庁舎は延期をする中で、I s値が低い中で暫定的な補強工事を来年度にでも行って、できるだけ建替えを先延ばしにしたいという結論を出すことも考えておまして、文化会館は、その中でも事業費を含めた優先度が高いところに位置づけておりますので、今までどのようなご要望が出ているのか。ご要望についてはいただいて、建設的費用の中で、できるだけ私どもとしては40億円というのが先にありきではないということをご理解していただきたいと思っております。

(片岡委員)

設計といいますか、工程について基本設計が平成21年8月から平成22年2月、実施設計が平成22年10月、工事が平成23年3月から平成24年8月というような予定ですが、その辺はどうなのでしょう？

(施設再編整備課長)

時期的なものにつきましては、安心・安全というものがありますので、できるだけ当初の予定通り進めたいと考えておりますが、まだ最終的に全体として基本設計・実施設計に取り掛かるのですが、その中でこの整備調整の全体のプログラムは、来年の5月ま

で修正及び見直しをかける予定であります。その中で、場合によると、例えば一年事業が延期になるといったことも可能性としてはございます。しかしながら、今の段階では、文化会館につきましてはできるだけ延期をせずに早い段階で予定通り整備できるように、あるいはそれ以外の事業についても考えていきたいということでもあります。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。

(岩本副会長)

A & Tさんに聞いた方がいいのかな？見積もりというのはいつごろ出るのかな？

(A & T建築研究所)

見積もりにつきましては、基本設計を進めておりまして、先ほどのスケジュールのお話のとおり基本設計が2月末という中で、基本設計の大枠の見積もりを掴んでいないと実施設計に移れません。当初、一番初めの協議会のごときにご説明したかと思うのですが、先月末に概算といたしまして、それぞれの大きなコストを掴んでいます。それで、それを基にどのように基本設計をまとめるかということも茅ヶ崎市さんと先月末からやっております。その結果について今日ご説明させていただくというようなことです。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。その他ございませんでしょうか？

では、ないようなので施設再編整備課長、ありがとうございます。

それでは再整備検討協議会の議題に入りたいと思います。本日の議題1「基本設計方針のまとめ」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。A & Tさんお願いいたします。

(A & T建築研究所 プロジェクターを使用し、説明開始)

(A & T建築研究所)

こんにちは。暮れのお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

それでは、先程副会長さんからお話がありましたが、そのことを踏まえてご説明させていただきます。

今回、基本的に文化会館を改修する大きな目的としまして

- 1 耐震補強
- 2 施設のバリアフリー化
- 3 老朽化した施設の更新

4 皆様方の要望を取り込む

5 より使いやすい施設を目指す

以上の大きな目標として進めてまいりました。

協議会につきましても過去 6 回皆様方よりご意見、ご要望等をお聞きしまして、その都度計画等を修正したうえで皆様方にご提案してまいりました。その結果、11 月に各種コストを洗い出しまして、集計しました結果、先程の予算に対して大幅に増加いたしております。そのような中で、そのまま基本設計を進めても画として終わってしまうので、皆様方の要望を含め予算を初期の目標に逸脱することなく、予算との調整をここ 3 週間ほど内部で検討いたしました。

その結果をご報告いたします。あとでプランをご説明いたしますが、建築的計画といたしましては、練習室などがあるところにエレベーター1台増設するという話だったんですが、それを1台にせざるを得ないという ことでございます。

それと楽屋でございますが、現在ピロティになっております。そのピロティを潰して楽屋を広げ、練習室とリハーサル室を大きくするという案でしたが、その部分につきましては、面積は多少増える形にしましたが、プランを変えさせていただきました。

搬入口につきましても、完全にトラックが 2 台入るようにして屋内化を図りましょうということで説明させていただきましたが、現状の状態で使っていただくということになるかと思えます。

また、大ホールですが、舞台機構の電動化をあきらめた結果、舞台の話のときに説明いたしました花道をやめて、舞台の鼻を 1m ぐらい広げて客席を広げて客席の減を食い止めるというような説明でしたが、舞台機構をいじらないということで、舞台の鼻を 1m 下げるというのができないということになりました。その結果、客席数ですが、前回 1389 席ということでご説明させていただきましたが、多少この数から減ります。その説明は、後ほどさせていただきます。

以上が結果としてまず始めにご報告いたします。お手元にありますのが、それぞれ色分けした図面でございます。エントランスロビー・展示室は変わっておりません。それとレストラン・第 3 のホールも変わっておりません。変わっております部分は、ここの部分です。

楽屋周りから説明させていただきますと、もともと説明させていただいていた部分はピロティ部分を大きく広げたものでしたが、それに対して今回の案は、その部分を引っ込めました。楽屋の数としては、現状の大ホールの楽屋の数と同じです。楽屋が 5 室のリハーサル室 1 室。楽屋の 5 室というのは変わっておりません。ただし、各楽屋とも面積としては、1 割～2 割り程度大きくなっております。リハーサル室につきましては、位置は変わっておりません。ホール側で使う際は、閉じる部分が変わって、大ホール利用時はリハーサルまた大楽屋として使えるという以前ご説明させていただいたコンセプトなどは変わっておりません。

練習室ですが、部屋数につきましては前回からの説明と変わっておりません。面積につきましては、以前同様 2 割程度大きくなっております。それと音の条件で、外部に音が出ないという条件につきましては、現状より良くなるというのは、前回のご説明のとおりでございます。なおかつ、大ホールの方でリハーサル室または大楽屋として使用していない場合につきましては、開く部分を変えていただいて第 4 の練習室というような使い方ができるというのも前回と変わっておりません。

結論といたしまして、現状の楽屋、練習室に関しては、部屋数は増えませんが、各部屋の面積が増えるというような形でまとめさせていただいております。こちらの搬入口につきましては、現状のとおりにお使いいただくという形になっております。

続きまして 2 階でございますが、先ほどの会議室棟に行く際のエレベーターの数ですが、2 台でというように進めてまいりましたが、1 台になるということでもあります。それと小楽屋のところにトイレを増設する予定でしたが、トイレの増設につきましては、中止させていただく形になり現在の楽屋のような使い方をお願いいたします。

ふれあい橋につきましては、現在ここで折れ曲がって 2 階のデッキにつながっておりまして、前回までの説明では、ここの曲がりを残して折ったままにしといて階段やエレベーターを利用して人を下に下ろすということで説明いたしました。その後、茅ヶ崎市さんと協議しまして、この部分に出べそのように出るのはおかしいだろうということで、この部分を直線に延ばして、そのまま 2 階のロビーに入れるようにした方が良いのではないかとということで、現在検討を進めております。

この建物は、月曜日が休館になるわけですけれども、この延伸した通路は行き止まりになってしまいます。その際は、デッキの始まり部分に休館というような案内をおきましようか？ということで話していますが、そのことに関してもまだ検討中なので、追ってお伝えいたします。

続きまして 3 階でございますが、エレベーターを 2 台から 1 台にさせていただくというのは 2 階と変わっていませんが、その他にあがっています、空調やその他システムの見直しにつきましては、ダクトスペースを現状どおり確保しなければならないという中で、トイレを大きく広げる案にしていたのですが、拡張が難しくなってきたということでもあります。会議室につきましては、一部間仕切りを変えてということが以前にあがったと思いますが、基本方針としましては現状のままで、内装仕上げで、設備関係はリフレッシュということで進めさせていただきます。その他に、遮音性能が悪いということがございましたので、扉などは遮音性能を上げるということにいたします。間仕切りをいじっていくという改修はこの部分では行っていきません。

続きまして 4 階でございますが、こちらの和室については水屋を 2 つ欲しいということや、お茶会の際に入口として南側を利用する際に、雨で濡れるというのに対しては、上部に庇をつけるということや、水屋を増設するというのに対しては、対応いたします。

その中で、間仕切りの変更等の案をこちらから提案させていただいていましたが、大き

な間仕切りに関しては、現状のままで行いたいと思います。その他の、照明や空調設備等はリフレッシュする。ということです。

以上が報告としてお伝えいたします。

以上の結果から、建物の動線といたしましては、まず 1 階でございますが、一般の利用の方は、入口から入りまして、風除け・レストラン・ホール・練習室関係にバリアなしですべて入れるような構成になっております。2 階のメインロビーに行くには、階段とエスカレーターがございますので、それを利用して 2 階のロビーに上がっていただく。また会議室棟へ行く際は、エレベーターで上に上がっていただくというようになっております。基本的に外部から来られて、外部と内部で段差がないというような計画といたしております。

次に、車椅子で来られた方の動線ですけれども、バリアがないので基本的には一般の方と変わらないのですが、上階に上がる際はエレベーターを利用していただくという形になります。またこちらの楽屋入口側ですが、現状は階段がございます。そこにスロープをつけまして、現在上がっている楽屋のレベルに入れるようにいたします。それと、2 階の小ホール楽屋に行く際は、現状は階段しかございませんが、それにつきましては、搬入口付近にエレベーターをつけまして 2 階に上がれるというよう計画いたしました。ですから楽屋部分も外部から内部へはバリアなしで行くことができます。

ピロティの部分ですが、ピロティ部分を再度設けたことにつきましては、文化振興財団の方ですとか使い勝手の部分で、特に学校等の利用で、このホールを使う際にこのピロティ下で集合となっているらしいので、潰してしまうとなくなってしまいます。そういったことを踏まえて計画の方を変更しております。

2 階に移りまして、まず一般の方の動線ですが、エスカレーター及び階段で 2 階に上がっていただく方と、ふれあい橋の方から来ていただいた方がいらっしゃる中で、メインロビーに入られて、3、4 階へは、こちらの上で上がっていただく。大ホールには直接入れる。現在のホールへは階段が 3 段～4 段ありますが、その階段をなくす考えでおります。

小ホールにつきましては、現在は奥の大階段で上がっていくようになっています。その階段はどうしようもないので、粹にエスカレーターを増設いたします。これも、前回ご説明しているとおりでございます。

車椅子ご利用の方ですけども、エレベーターを使って上がってこられて、大ホールに入れる。ふれあい橋からの方も段差なしで大ホールの方に入れるようになっております。また小ホールの楽屋に行くには搬入口付近のエレベーターを上がっていただける。健常者の方は階段からでも来られるようになっています。この部分もまた、段差・バリアなしで、楽屋・舞台のレベルに行くことができます。

3 階に移りまして、会議室棟ですね。エレベーターに乗っていただいて、各会議室に行ってください。足腰の悪い方につきましては、エレベーターで 3 階まで来ていただいてブリッジで小ホールの方へ行くという形になっております。

車椅子の方の動線も会議室、小ホールに行くのは、同様に、バリアなしでフロア内の移動が自由になっております。

4階ですが、今までのご説明と変わりません。一般の方もエレベーターで上がっていただいて、各部屋を利用するという形で、車椅子の方も同様に各部屋を利用していただくこととなります。

以上が計画を予算に合わせるべく変更した中での動線計画でございます。

基本的に大きな問題で動線にかかわることにつきましては、変更の対象にはしておりません。大きな問題に関しては、守って計画していくつもりです。

続いて、大ホールのホールの中の動線となります。メインロビーから入って来ていただいて、一般の利用者の方はそのまま客席に行っていただいたり、また階段上っていただいて2階バルコニー席に行くことができます。なおかつホールロビーにエレベーターを1台設置いたします。2階のロビーに行くのと下に降りるという動線を確保しております。2階に上がっていただいたら、動線的には先ほどの説明とさほど変化はありません。2Fから大ホールロビーに階段やエレベーターで来られた方は、そのまま客席に入れるというのは従来と変わっておりません。変わった部分というのがロビーに新設したエレベーターでございます。エレベーターに乗りまして上にも行くことができ、下にも行くことができるということです。2階には車椅子席は準備しておりませんが、2階に上がって来られるようになっております。

1階部分ですが、エレベーターで降りてこのような経路をとります。それで、1階席の真ん中の通路のところ、車椅子席を両側2席で4席ほど用意しております。このレベルまで車椅子の方が降りてこられるということで、合わせまして、現在のトイレの床のレベルを見直しました。現在は、また数段の階段を下りてトイレなんですけど、真ん中付近に座っている方は両側から通路を通っていただいて、バリアなしでトイレに行くことができます。2階のメインロビーからの場合だとどうしても階段を使ってもらえないんですが。

動線については以上であります。

続きまして、今回の改修の主目的であります、耐震補強について簡単にご説明させていただきます。

今回建物の耐震診断をしまして、始めに説明いただいたとおり市役所よりは良い状態という中で、それでも耐震補強しなければならないという中で、詳細は計算書などまだ出ておりませんが、ある程度のメモということでご説明させていただきます。まず建物が揺れたときに耐震補強してあるからといって建物が壊れないかということではないんですね。人命に影響を与えるような壊れ方はしないということです。ですから、主要構造部が壊れて建物がぺしゃんこになるということを防ぐということで、原形が保たれるというような中での補強であります。現在世の中で行われている耐震補強の定義はみな同じでございます。

まず、緑の点線の部分はコンクリートの壁を厚くしまして、耐震壁とありますが、地震が来たときに踏ん張る壁ですね。木造の建物で言うと鎧のようなものです。その今ある壁をコンクリート増し打ちで厚くします。というのが緑の点線でございます。

続きまして、鉄骨ブレースですが、柱と柱および梁の間に鉄骨をバツェンのような形を入れて、潰れないようにするという補強エリアが、赤点線になります。今回、練習室周りや楽屋周りなど現状の状態からプランを変更しております。それに伴って、新たにコンクリートの壁を作るところは赤い実線になります。この部分も耐震の壁として利用します。

以上の部分が1階については、コンクリートの壁、鉄骨ブレースなどによって、建物の耐震性をアップさせるという考えであります。

続いて2階につきましては、コンクリートの厚さを増やす壁は図面のとおりになります。大ホールは大きく空間で抜けてますので、揺れた時に壊れないように増し打ちいたします。鉄骨ブレースを入れて大きく壊れないようにする部分は、図面のとおりになります。また、新たに増設する壁は、図面のとおりです。

続きまして、3階ですけれども、この階は鉄骨ブレースの補強のみ出てくるところでございます。

以上が、耐震で補強をかける階でございます。これについては、現在詳細な計算を行っていきまして、なおかつその結果を、指定機関に提出してお墨付きをいただく。というような作業が残っております。その作業が完了するまで、検討中ということになります。それ以外に、建物の外壁ですが、タイル関係は地震などによって落下するもの、一部はがれているところは、張替え、一部浮いている部分は接着材を注入して補強していく計画であります。

続きまして、大ホールの客席であります。先ほど申しましたように、前回までのご説明は、サイドの花道を取って、なおかつ舞台の鼻先を黒い点線（1m下がった位置）まで客席を広げましょうという計画でございました。それで客席数としましては、1389席確保ということで、ご説明させていただいています。今回のトータルな見直しの中で、舞台機構を大幅にいじるということは断念せざるを得ません。その結果、舞台の鼻先の黒い点線をこの位置まで持ってくることができなくなりましたので、以前の現状の位置のままという結果になっております。また花道については、仮設かということでそのままです。

そうすることによって、前列の1列がやはり空間が確保できなくなりまして、その結果、現状で、1375席となりまして、前回ご説明させていただいた1389席より14席マイナス席になってしまいました。

当然客席の幅は520mmということでゆとりを持たせて、1階の平土間の席は千鳥に配置する。というようなことは変えておりません。

以上のことが、概略の説明でして、過去6回色々とお話いただいて、私どもなりに検討した結果としてご提案させていただきました。当初申し上げましたように、この前のもので見積もりをした結果、3割程度オーバーしてしまったという中で、ご説明いたしました楽

屋まわりも少し変更。それと大ホールの舞台機構の電動化の取りやめですとか、その他もろもろ盛り込みまして、基本的には皆様から出てきたご要望に対してやめたということはないつもりであります。そういうことで、何とか見積もりが目標値に納まるのではないかという様な段階であります。このようなことを踏まえ来年 2 月末には方向を決めそれで進めさせていただきたいなと思っています。

本日は本杉先生がご欠席であります、本杉先生と大野先生に関しては、事前にこの内容を説明させていただいております。両者とも予算がない中での検討でしょうがないという答えの中で、本杉先生に関して言えば、搬入口は拡張計画の方が良いというようなご意見もございました。ですが、大きな部分での反対はございませんでした。ということをご報告いたします。大野先生は今日ご出席されているので、何かご意見ございましたら、質疑の際にお願いいたします。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

(杉山会長)

ありがとうございました。A&T さんから説明いただきました。それでは、ただいまの説明に対してご質疑、ご意見等を受けたいと思います。何かございましたらお願いいたします。

(片岡委員)

よろしいですか？今現在エレベーターが 1 つあるのですが、車椅子で乗りますと一般の方があまり乗れませんよね。ですから 2 台設置されるのはとても良いと思ったんですが、1 台になるということで従来と使い勝手は同じということですよ？

(A & T 建築研究所)

エレベーター自体は建物の中に、エントランス部分と搬入側にございます。それらにつきましては、設置から 30 年経過しているということで、全て新しいものに入れ替える予定で、予算は組んであります。しかし、大きさを変えるということ自体が、昇降路というのが決まっています、大きさ等はなかなかいじれないというのが実状です。皆様が乗られる籠につきましては、新しくしますので。

(片岡委員)

2 台が一台になるということで、本当なら籠を大きいものにしていただけたら一番いいと思うんですけども。

(A & T 建築研究所)

大きさについては、これから細かく検討してみます。梁がありまして、その梁を部分的

に切り欠けば納まるのであれば大きくできるんですが、その梁が変なように入っていると、耐震性能が落ちてしまう。そのようなことを踏まえて検討させていただいて、また大きくできるかどうかについては次回にでもご報告させていただきます。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか？

(岩本副会長)

駐車場のところの床（人工地盤部分）を全てなくしますよね？

その床というのは、耐震ということに対して影響はないのですか？

(A & T 建築研究所)

現在この建物というのは、先ほどの耐震の計画を見ていただいて、この部分が補強が多かったと思うんですが。建物というのは、大きな箱に対して、突出してでている部分が低いレベルでくっついている形ですね。なるべく整形の方が強くなります。ですから、当初色々計算いたしました。この部分を耐震もやり直して、その他に防水も駐車場部分やり直して、個別に作るコストとですね、そこに新たに作るコストというのは、比較しましたらそれほど変わりません。バリアフリーやその他含めてもさほど変わりませんでした。

また、デッキ部分を残すにしてもその部分にもお金がかかってしまう。デッキ部分がホール側の建物に悪い影響を与える可能性もありえる。そんな中でとってしまえばスッキリするのではないかと。

(岩本副会長)

虫歯がなくなるような感じですかね？

(A & T 建築研究所)

そんな中で、バリアフリーも含めて総合的に判断いたしまして、このようになりました。

(岩本副会長)

もう1つよろしいですか？

ふれあい橋を延長するとおっしゃっていますが、あの橋を残すですとか、延長するとかというのは、どこのご希望なんですか？

(A & T 建築研究所)

ふれあい橋につきましては、現在は道路管理課さんが担当していますよね。

(事務局)

現在ふれあい橋につきましては、道路管理課の方で管理をしておりますが、現況はですね、2階レベルの市民広場までいけるようになっているのですけれども、お話のとおりデッキを撤去することでやっているのですけれども、橋の延長につきましては、現在検討中でして、このような形になるということではございません。現在課の中の道路管理部局というところで検討中ということで、将来的にふれあい橋をどうするかということは、まだ未定です。このような形になると決定したわけではないのでご了承ください。

(A&T建築研究所)

すみません。私の考えが不足していたのかもしれませんが、最終的にトータルで予算を40億に納める中で、複数の計画がある中で、どれをやってもできるようなことで、予算を組んでおかないと、あくまで予算上ですが、こんなのできないという話はよくありますので、そういったことも含めた案ですので、また先ほどご説明ありましたとおり、まだ最終的な決定ではないということをご理解していただきたいと思います。

説明が不足しておりまして、大変申し訳ありませんでした。

(岩本副会長)

よろしいですか？ふれあい橋を作った際の経緯はご存知ですか？

当時の議事録を見ていただきたいんですが、大反対の中でつくったんですよ。あれをつくっても役に立たないという反対の中で、どうしてもやらせてくれということで、できたわけですが、現在誰も使っていないですよ？市の職員は使っているのかもしれないですが。例えば、これが事務員が本庁者に行ったり来たりするために使うだけであれば、そのためだけにつけたのかと言われちゃいますよね。今だって、文化会館に入るのは2階ですけども、あの橋を使わないで入って来られる方がいる。そんな中で、今回の計画案ではメインが1階にあるわけですから、邪魔なものになってしまう。危険物がとり残されてしまうということになるのではないかなと。ですからこの際に、中央公園に行くところまでは残しておいたとしても、そこから先は、なくした方がいいと思うんですよ。そうすると、その分メンテナンスもかかりませんし、延長するにもお金がかかってしまうんですよ。その分、施設の中にまわしていただいて、エレベーター1機ぐらいは何とかならないのかと思うんですけども。少なくとも壁の一部が大理石になんていうのぐらいはできるのではないかなと。ですから、今回は文化会館以外のところも見直していただいて、ふれあい橋なくしても誰も文句は言わないと思いますので。スッキリさせてしまっただろうかなと。将来は、一体として駐車場として使う構想もあるのでしょうか。ですから、邪魔になりそうなものは、この際に取り上げてしまっただいてスッキリしてしまいたいなと心から強く要望いたします。

それともう1つ私が、舞台関係のこともやりますので意見を言いますが、6回もかけて話

し合って、楽屋周りや舞台関係の使い勝手が良くなるのかなと思ったんですが、極端に言いますと、全然改善されないなということになっておりまして、検討委員会がありますのに、何で6回やってきたんだらうということになる。見に来る方にとっては、かなり良くなってきていると思いますが。裏口を使う私たちにしてみますと、大変な大問題が全く改善されない。特にトイレの問題ですとか、楽屋が足りないですとか、道具や荷物を降ろす際にビショビショになってしまうとか。そういうような、使い勝手についても少し考えていただいて、予算がないのはわかりますが、これからまた40年、50年使うわけですから、私たちがいないとしても、あのころは検討委員会みたいなものがあつたにも関わらず何を検討したんだと。30年後罵倒されますよ。予算がないのはわかりますが、そこを何とかして、起債を使ってでも、今回の大規模改修で今後何十年も使うわけですから、そういうことを考えていただいて、予算査定をしていただきたいなと思います。

(杉山会長)

ありがとうございます。その他いかがでしょうか？

皆さん、ご利用される方、出演される方、ご覧になる方たくさんお集まりかと思いますが、それぞれのお立場でご意見あればいかがでしょうか？

(A&T建築研究所)

先程、大野先生とは事前に打ち合わせさせていただいて、快諾はされませんでした、本協議会で発表してしまったんですが、大野先生どうでしょうか？

(大野アドバイザー)

私も大変残念だなと思いました。ただ予算あつてのお話ですから、仕方がないと感じますが、しかしもう1つ知恵の出どころがあるのではないのかなという気はいたしております。今ご指摘ありました、ふれあい橋の件もございますし、今回せっかく1階部分がオープンになったのだから、目障りになるものはなるべく取り外してしまわれたらどうでしょうか？というように考えております。やはり皆様が「広くなって、良かったな」というイメージは持っていただいた方が、この委員会の今までの努力が報われる気がいたします。それから、楽屋の増床に関しては、提案された図面を見たとき、私はこのプランニングを高く評価いたしました。普段舞台に接していない方は、楽屋はいかにしてスペースがあるかないかということは、かなり大きな問題で、これを増床すると言うのは凄くいい事だと思ったんですが、結構な経費がかかる。何とかそのところを捻出できて、贅沢な部屋を作れとっておきませんので、雨風防げて空間が確保されればいいことなんですから。

その辺のことを踏まえてもう一度設計者の方で、もう一度知恵を絞っていただけないかなと私は、考えました。

あとのところは、今回の案を拝見していて、私はトイレの増設とかそういったことや大

きな話で、外側の動線周りが非常にスッキリしてこれは使い勝手が凄く良くなって、文化施設の改修の1つのモデルになるのではないかなと考えております。ですから、舞台の電動化というのは、本当は必要なんです。といいますのも、今までのようなカウンターウェイトで行いますと、扱える技術者がどんどん減ってきている。しかも、非常に事故がおきやすいところなんですね。やはり、今後のことを考えて電動化しておいて、どのような人が来ても、扱える体制にしておかないと本当はいけないんです。ただし、あれもこれもと、全部やるわけにいかなから、現場の方にご足労かけますが、今後使い続けていくというこの状況で何とか使いこなしていただくという形で進めていくしか仕方がないかなと思っております。今回の改修案で、少なくとも40億円の金額の範囲内ということになると少なくとも神奈川県施設よりも恵まれていると私は思っております。県ホールは35周年過ぎましても、大改修の時期なんですけれども、先延ばしになっておりまして、いつ大改修が行われるかわからない状態にありますから。それに対して、これだけの費用をかけて行うわけですから、私もここで会議に参加させていただいて、大いに公共施設の今後のあり方というものを勉強させていただきましたし、それも皆様方の知恵の結晶ですから、残された時間の中でできる限り最初の案に近づけるように、もう一工夫ご努力していただけたらというふうに私は考えております。

(杉山会長)

ありがとうございます。その他のみなさまいかがでしょうか？

(松永委員)

展示室のことなんですけれども、今までと違って入口が図で見るとこら辺なんですけど、今現在使っているところでも、東側の非常口の部分が開けることができるんですよ。そのとき雨の日がありまして、一日で中の掛け軸や何かクチャクチャになってしまった。湿気は凄く関係するんですね。そのことを踏まえて、入口の部分は、是非とも二重扉で二段階になると思うので、雨の日はもろなんで、その辺はお願いいたします。

搬入口の所は何台くらいの車を止められるんでしょう？

(A&T建築研究所)

基本的に駐車はできません。

(松永委員)

大トラックがあるんですが、1台ですか？

(A&T建築研究所)

はい。

(松永委員)

結構狭いんですね。

(A&T建築研究所)

オシリで突っ込んで頭から出て行く。車を止めるというのはちょっと無理です。

(松永委員)

業者が一件とは限らないので、限られた時間内に 2 件以上きた場合には、待つ様になるということでしょうか？

(A&T建築研究所)

はい。

(松永委員)

わかりました。

(A&T建築研究所)

それとですね、外周り、また中の割り方については、これからいろいろパターンで検討していきますので、ご理解ください。

(松永委員)

もう 1 つは、お茶のグループから頼まれていたことですが、一応図面は持ってきました。水屋が 2 つになったということは非常に喜んでましたが、水屋を現在の位置と違った場所を検討してまいりました。水屋の出入口の位置を二つにして欲しいという要望が来てますのでそれを渡したいと思います。実際の利用している各流派の方々が集まって、相談されたものですので、あとでお渡ししたいと思います。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。

(岩本副会長)

先程のバトンの件なんですけど、音響の方も含めて相鉄企業さんにお世話になっているんですけど、素人では触れられないものが多いんですね。それが管理者さんの負担になっているのかなと。一般市民の方々に、使い方の講習会をやって知識をつけた方を半ばボランティアのような形で協力していただいている街もあるんですけど、そういったことをやるやら

ないを別として、なるべく使い勝手がいい、プロでなくても素人に少し毛が生えた程度でも、使えるものに本来ならしておいていただけると、何かの時に非常に助かりますね。その点、先ほどの綱元の話もそうなんですが、今の綱元ですと素人は当然触れませんので、そういうことを含めて、照明機材・音響機材も素人では触れない機械がありますので、この問題も予算に関わってまいります。是非その辺を踏まえて予算内の検討をしてきた。とにかく、30年後を見据えて是非30年後にこんなものと言われたいようなものを全力で造っていただきたいと再度お願いいたしておきます。

(杉山会長)

ありがとうございます。先ほどの岩本さんの意見に追加なんですが、今度、第三のホールができます。ここは、市民の方々が気軽に活動できて発表できれば良いなと思っているんですが、さっき岩本さんがおっしゃったとおり、音響・照明などといったものを、市民の方が扱えるような設備をちゃんと整えていただくと良いなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

設備に関しては、発表の度に業者さんをお呼びしていると、お金がかかってしまうので、何か発表したいという気持ちがあるときに、お金がないからやめようねということがないように、設備は整えていただきたいなと思いました。

(A&T建築研究所)

先ほどから予算の話なんですが、どこか枠を使いますと、どこかが減るとということなんですが、こういったことがございますので、中々苦慮しております。先ほどの舞台の件で、使い勝手なことなどございましたが、大ホールの舞台設備を全て電動化しようと思えば、予算上で4億〜5億円かかります。先ほどから3割程度オーバーしている中の1つは、この予算がありまして、あきらめざるを得ないということがございます。かなり厳しい状況ではあります。もし要望で全て電動となりますと、トータル予算の中で1割以上ここで使ってしまうので、あきらめざるを得ない。ということをご理解していただきたい。

その代わりに、小ホールなどの重い機材、照明などは、全て電動化しますし、小ホールの音響については、従来の予定どおり建築音響の改善をするというようにいたします。

今色々意見が出た中で、大野先生含めて、できれば電動化と搬入口をというお話がありましたが、それ以外は、だいたいご了承いただけたかなと思っておりますけれども、その他につきましては、これから予算をつめていく中で、現在はある程度粗予算で出しておりますが、これから明細で細かくつめていく中で、多すぎの部分があると思っておりますし、逆に見込み違いで少ないところもあると思っておりますので、その辺をうまくリカバリーができればと思います。設備を追加しますし、その他のところで何かございましたら増やしたいと思っております。

利用者の方の優先順位が高いところから考えていくということを進めてまいりたいと思

います。

(杉山会長)

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか？

(片岡委員)

今お話があった第三のホールについては、まだ具体的に中身は考えられていないですね。

(A & T 建築研究所)

設計の思想としましては、大きな電動のバトンをつけたり、そういった重装備ホールではなくて、何かがあれば上から吊れるですとか、パイプを設置しておくとかそういったもので自由に使っていただく。その他スピーカーなどは、可動物で置いたり掛けたりしてやっていただくというような、この空間を自由に使ってくださいということで、特に舞台を設えたり、その他を決めておくというのは考えておりません。音の漏れない、響きがある程度良いものを考えております。

そういう中で、中の備品についてどうするかはまた別に。建築の中で見るのか、別に見るのかは検討いたします。

市さん含めて協議していくことになると思います。

(岩本副会長)

それでいいと思うんですが、音がまわってしまうことが考えられますので、壁と床の構造に神経を使っていたきたいなと考えております。

(A & T 建築研究所)

防音仕様にいたします。そのうえ、ある程度音を出しても音が外部に漏れないような予定にしております。

(岩本副会長)

野外でやるときのようにアングルを組んで照明を設置したりするのを固定であったりはしないんですかね？うるさいですかね？何か上から照らしたいという場合はどうなんでしょう。極端な場合は、室内にアングル組めよということで。

(A & T 建築研究所)

おっしゃっているのは、天井が高い部分で、ギャラリーといいますか、二階にもある程度人が行けるようになっているということでしょうか。それは少し検討させてください。

(岩本副会長)

わかりました。

(大野アドバイザー)

いずれにしましても、この大改修を機会にやっておかないと、今後やろうとする際に大事になってしまって中々できないというのは良く聞きます。

今のようにフレキシビリティを持たせたい。色々なところで吊りたいというときに、構造上、その加重に耐えられるだけのパイプを通すなり何なり、それに取り付ける際に、いちいちローリングタワーを持ってこなくてもいいように、キャットウォークにいけばある程度できるんだという基本的なラインだけはちゃんと引いておく。そうすると後に音響などを違った場所に置きたい、吊るしたいときに後の追加予算で、小出しに追加していくというようにしてはどうか。予算がはみ出すのであれば、それは置いておこうよというようにしていけばよいのでは。

いずれにせよ、基本のラインだけはキッチリ引いておいて、必要最低限のものは初期に用意しておいてもらうというのが大事だと思います。

(杉山会長)

すみません。確認なんですが、ロールバックの客席というのは。

(A&T建築研究所)

ございません。

(岩本副会長)

ないのであれば、何もないほうが良いのでは。

(杉山会長)

そうですね。その他はいかがでしょうか？

(吹谷委員)

私は、ずっとお話聞いていて、やはり楽屋が気になりますね。ほとんど現状のままになってしまって、優先順位としては、何を削るか、どこに需要があるのかとなった場合に、私が理解不足なんだろうが、第三のホールというのは、どれほど需要があるのかというのがあります。そういうように見た場合他の施設でもそうでしょうが。

本当にそこにお金をかけるべきなのかということと、今かけとかないと後じゃできないというところを良く見て本当にそうなのかという気がするんですね。どうなのでしょう

か？第三のホールはそれほど需要があるんですか？お聞きしたいのですが。

(杉山会長)

私が説明してよろしいですか？

私が窓口で聞いていて、とにかく土日が取れないということでした。小ホールの半分くらいの面積で 200 名程度のものをやりたいんだけど、土日が空いていない。どこに行っても取れない。2、3 回行っても取れない。そういうのを解消するために、土日に利用できる方が増えるということで、第三のホールが必要になってきたんですね。

(大野アドバイザー)

参考までに申し上げますと、神奈川の新しくできる芸術劇場なんですけど、これが小ホール機能のものが、複数用意しております。というのは、今の時代の流れでアマチュア、ないしはもう少しプロに近い方たちが、創造発信型といいますか、自分たちでやりたいというときに、スペースが欲しいという要望が時代の流れとして非常に多くなってきております。ですから、それに答えるためにも、地域の文化発信創造型の施設をという声の中で、こういうものを造っておくと茅ヶ崎圏を中心としたそういった方たちの活動の場が増えるということになるので、やはりそういったホールは時代の流れで必要なのではないのでしょうか。

(吹谷委員)

そうなんですけど、私が思うのは、今しかできないこと後からできるものを見極めですね。構造のことはわかりませんが、第三のホール部分は後からでもできるのではないかなと。逆に楽屋部分は今しかできないのかなと。

使う側からすると、楽屋が全く変わらないのはショックです。

(大野アドバイザー)

その辺のところは、がんばって欲しいところです。先程小ホールの耐震補強の壁の説明がありましたね。あそこの補強がないとできないことですので。基本的な構造に関わる場所は、このときにやっちゃいけないのだろうなと思います。

(吹谷委員)

あそこに補強してしまうと、決まってしまうわけですよ。

(片岡委員)

1つ、A&T さんに確認したいんですが、当初の設計では楽屋裏を改修することによって、スロープ部分がフラットになるということでしたよね。そのままの場合は、今現在と変わ

らないんですか？

(A&T建築研究所)

先程一階のプランで説明いたしましたが、今は階段で入ってくるだけなんです、片側にスロープを造って、行きましょうかというように、提案しています。

(A&T建築研究所 プロジェクターにて説明)

楽屋の床の高さは基本的には舞台の高さで決まっています、そこを水平にきている。ということで楽屋入口と外部とは段差ができてしまう。そこで階段だけであったのをスロープを造って車椅子の方も上がれるようなルートは確保しました。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。質問よろしいですか。

楽屋の数が今と一緒にってしまったということで皆様残念がっているんですが、ピロティ部分は楽屋待ちの方とかのために空けてくださったと思うんですが、ピロティを保ちつつ楽屋を増やしたり大きくするのは可能なんですか？

(A&T建築研究所)

現在揃んでいる予算は、概算という形で細かくしていないんですね。本来実施設計が上がった段階で、見積もり作業がありまして、できるできないにつきましては、できるかもしれないし、できないかも知れない、としかいえません。現在の概算では動く要素が多分にありまして、細かいところや少しでもというのは、なかなかお答えできない状態ですので、ご理解いただきたい。

市から言われているお金に対して、計画案をここまで変更して、ようやく追いつくお金という程度です。ですので、これで進めていって少なかったのであれば増やせば良いですし、多かったのであればさらに削らなければならないということです。

(片岡委員)

もう1つ確認させていただきたいのですが、デッキについては今回の費用に含まれるんですか？

(A&T建築研究所)

ふれあい橋ですか？やるとなれば今回の予算に含まれることになります。

(片岡委員)

壊す費用と延伸する費用ということですね。

(A&T建築研究所)

そうです。

(片岡委員)

デッキというのは、渡る人が限られていまして、そういう意味では本当にいるのかなと。利用頻度を見ていまして、私個人的には本当にいるのかなと。まして、平面を今回利用するとなると、できればデッキをなくした方が良いのではないかと。

なぜかといいますと、ここを定期的に利用している、農協さんとか、他の団体なんかでも九時以降でしか施設に入れられないんですね。それでデッキで待っていますが、なくなるとなると、わざわざデッキで行く人がいなくなります。必要ないように思いますが。

そういう意味では、当初の途中で切ってしまうのも良いのではないだろうか。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。他に、何かありませんか？なければこの辺でしめさせていただいて次の議題に移りますがよろしいでしょうか？では今日出た意見を参考に事務局の皆様よろしくお願いたします。

次に。議題②「その他」について進めたいと思います。皆様方、また事務局から何かございませんでしょうか？

(吹谷委員)

前にもお話していましたが、練習室の広さについてですね。我々の団体の人数で調べさせてもらったんですが、前回の私の意見を下げてもらって結構です。前に各楽器での練習は現在の楽屋をつかわせてもらったりしています。なので前回の私の意見は取り下げてもらえば良いです。

(杉山会長)

楽屋についても数は変わりませんが、2割程度大きくなったということで、吹谷さんがおっしゃっていたことは了承いたします。その他いかがでしょうか？事務局の方々よろしいでしょうか？

(事務局)

皆さんがなければ事務局よりお伝えいたします。

今日の話し合いは色々予算について終始しまして、本当に限られた予算の中でどうしたら良いのかと、頭を抱えてしまう状況です。こういった施設を所管している職場として

は、皆様のご要望をいかに反映をしていくかというように努力するわけですが、全体の税収の減。そういったもので財政が厳しい、本当に緊急事態的なことになっております。こういったことを十分ご理解していただいた中で、ある程度優先順位をつけた中でやらなければならないを得なくなってしまうのか、と危惧しているところでありますが、

次回の会議は、予定ですと2月18日ということになります。しかし、さきほど施設再編整備課長のほうから、今後一定の縮減費については、1月末までにある程度めどを立てたいというお話があった中で、今の40億の削減の程度が決まったときに、2月1回だけで大丈夫でしょうかというところで、皆様からご意見いただこうかと思っております、場合によっては1月の下旬あたりに臨時にもう一度開催させていただく可能性があるということをお気に止めておいていただければと思います。それについては、庁内で検討して決めさせていただければと考えております。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。

事務局から、当初では2月18日に予定されていますけれども、1月下旬に臨時に皆様にお集まりしていただく可能性があるということです。お願いいたします。

(事務局)

時期的なことに関しては、決まっていませんので1月末か2月に入ってしまうかもしれませんが18日の前にもう一度やるかどうかということです。

(望月委員)

A&Tさんに伺いたいのですが、市のほうで1月末に予算が確定するという事なんです、現在基本設計を行っているわけですよね？それが完了するのは2月何日かになっているんですけれども、部分的にはやり直す部分があるわけですよね？その場合、形がある程度決まっていなくて会議やってもしょうがないと思うんですが、その辺はどうなるんですか？

(A&T建築研究所)

事務局がおっしゃったことがあるのであれば、庁内の方から方向性的なものが出てくると思いますので、その結果によってはもう一度検討しなければならないです。いずれにせよ、2月末までには限られた予算の中で、納まる計画というのをまとめざるを得ませんので、日数がない中で、やらざるを得ないということになります。数字がずれれば私共のほうも時間を要しますので、日程の方がずれますという説明だったと理解しております。

(杉山会長)

はい。ありがとうございます。もし、決まりましたら A&T さんに招致いただきたいです。
その他はいかがでしょう？特にないようでしたら本日のご協議終了させていただきます。
皆様ご苦労様でした。